

IsaKd療法【2コース目以降】(Day1,15)

【血液内科】247-1,15【多発性骨髄腫】
(第 コース目)

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 4週ごとを1コースとする

Day	1	2	8	9	15	16	22	23	~28
施行日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
サークリサ	↓	休薬	休薬	休薬	↓	休薬	休薬	休薬	
カイプロリス	↓	↓	↓	↓	↓	↓	休薬	休薬	
オルガドロン	↓	休薬	休薬	休薬	↓	休薬	休薬	休薬	
レナデックス(経口)	休薬	↓	↓	↓	休薬	↓	↓	↓	

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順	投与時間	
※①	10時	5%ブドウ糖 250mL 20mL/hr(終了時残破棄)
※①	10時	同時に側管より カロナール内服(必要時) → 別途内服オーダー ポラミン注5mg 1A (必要時) ガスター注20mg 1A (必要時) オルガドロン注19mg 1V 5%ブドウ糖 100mL 30分
②	10時30分	●サークリサ【 】mg 5%ブドウ糖 250mL 1時間15分
③	11時45分	5%ブドウ糖 50mL 10分
④	11時55分	●カイプロリス【 】mg 注射用水 5%ブドウ糖 100mL 30分 ※カイプロリス10mgは注射用水5mLで溶解 ※カイプロリス40mgは注射用水20mLで溶解

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量
サークリサ	10mg/kg mg/Body
カイプロリス	56mg/m ² mg/Body
オルガドロン	mg/m ² 19mg/Body
レナデックス(経口)	mg/m ² 20mg/Body

■注意・確認事項

- 点滴セットはフィルター付き輸液ルートを使用すること。
- サークリサ投与時は輸液ポンプを使用すること。
- サークリサ、カイプロリス投与中または投与開始後24時間以内にinfusion reactionが起こる場合があるので注意。
- 1コース目においてinfusion reactionが認められなかった場合は、2コース目以降のサークリサ投与における前投薬の必要性を再検討することができる。
- サークリサの投与速度 (詳細は点滴速度換算表参照)

《3回目投与以降》

200mL/hr

入力薬剤師	看護師	看護師